



広 い 心

学校便り 17号
令和8年 2月3日
宮古島市立狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武 真史

全宮古小学校駅伝競走大会



1月24日(土)、全宮古小学校駅伝競走大会が行われました。今年度から「女子の部」「男子の部」と2部制での開催でしたが、狩俣小学校は男女混合の単独チームとして「男子の部」へエントリーすることになりました。結果は23チーム中で21位でしたが、ほとんどのチームが6年生男子でそろえてくる中、4年生の小さな体で健闘する姿や男子にも負けない軽快な走りの女子の姿、高学年男子の力強い走り、そして応援で仲間の背中を押す控えの選手など、チーム狩俣小として一生懸命たすきを繋ぐ姿に大きな感動を覚えました。

今回、アップダウンのあるコースであったにも関わらず、ほとんどの子が自己ベストを更新しました。これは、「仲間を思う気持ち」で全力を出したこと、あるいは「仲間の応援で背中を押されたこと」が影響しているかもしれません。これからも狩俣で育つ仲間と支え合い、励まし合いながら力を高め合ってほしいと考えます。選手(控え選手含め)も応援もみんなよく頑張りました。



(1区:5年生の冠成さん)



(2区:4年生の慶裕さん)



(3区:5年生の真菜さん)



(4区:4年生の穂奈美さん)



(5区:6年生の勝成さん)



ともに支え合った仲間たち

豆つかみ朝会(保健委員会)



1月27日、保健委員会による豆つかみ朝会を行いました。この朝会は、箸の正しい使い方を知り、ゲーム感覚で楽しく練習しようという企画です。左の皿にある3種類の粒(スポンジ1点、大豆3点、小豆5点)を30秒の制限時間内で右側のお皿に移すというゲームをしました。箸使いの上手な子はたくさんの粒をテンポ良く移していましたが、箸使いが苦手な子は小さな粒をつまむのにだいぶ苦戦していました。毎日、生涯使うであろうお箸です。今のうちにマスターしたいですね。

